

KADOKAWAが創出する“クールジャパンの拠点”が
イベントスペースに

ところざわサクラタウン 施設利用のご案内

株式会社KADOKAWA レクリエーション事業局



ところざわサクラタウン
TOKOROZAWA SAKURA TOWN

ところざわサクラタウンについて

株式会社KADOKAWAが運営する「ところざわサクラタウン」は、みどり豊かな地から最先端の文化と産業を生み出し、世界に向けて発信する「COOL JAPAN FOREST 構想」の拠点施設です。この構想は、所沢市との共同プロジェクトとして取り組んでいます。

書籍製造・物流工場や所沢キャンパス（オフィス）、イベントスペース、ホテル、ショップ&レストラン、書店、商業施設などを展開するほか、ランドマークとなる文化複合施設「角川武蔵野ミュージアム」を建設。日本最大級のポップカルチャーの発信拠点として、2020年4月に竣工、11月6日にグランドオープンしました。



ところざわサクラタウンを イベントやプロモーションの 会場としてご利用いただけます

ところざわサクラタウンは、ミュージアムのほか、ホテルやレストラン、カフェやブックストア、さらには本格的な多目的ホールや野外のオープンスペースなど、さまざまな施設が用意された日本最大級のポップカルチャーの発信拠点です。そんな“クールジャパンの拠点”をイベントやプロモーションの会場として提供しています。東川の桜並木に向かって広がる「千人テラス」と、ところざわサクラタウンの中心に位置する「中央広場」を、食フェスからお祭り、展示会などの催しが行える開放的なオープンスペースとしてご利用いただけます。

TOKOROZAWA SAKURA TOWN



独自の外観の角川武蔵野ミュージアムを背景に「中央広場」で実施された新車展示会の様子。
協力：ボルシェセンター狭山・ボルシェセンター浦和



「千人テラス」でのステージのイメージ。インパクトのある会場でのイベントは、来場者の印象にも残ります。ステージは、通りにも面したオープンなスペースです。

ENJOY THE SAKURA TOWN



千人テラス

特徴的なランドマークを背景にした 「千人テラス」と「中央広場」

その名のとおり、1000人を超える収容人数を誇る大型野外スペース「千人テラス」。明るいステージを囲むように備え付けられたステップは、通りかかった人が気軽に座れる観客席になっています。パブリックビューイングや発表会など、使い方は無限大です。また、敷地の中心に位置する「中央広場」も、展示会や食フェスなどさまざまな用途にご利用いただけます。背景には、ところざわサクラタウンのランドマークでもある角川武蔵野ミュージアムがそびえ、来場者の印象に残るイベントとなるでしょう。



中央広場



千人テラスは、中央広場から続くステップが座席となっており、幅13m(長辺24m)×奥行9mのステージです。楽屋や控え室、更衣室として使用可能なロッカー室などもご利用いただけます。

中央広場

貸出エリア▶面積約800㎡(最大)

千人テラス

ステージ▶面積166.5㎡/幅13m(長辺24m)/奥行9m

客席▶面積1255.3㎡

角川武蔵野ミュージアムのすぐ横にある中央広場は、来訪した方の目に留まるスペース。テントやテーブルを並べて、各種展示会のほか、食フェスなどのさまざまなイベントの会場としてお使いいただけます。

雨や日差しを避けられる 屋根のあるスペースも

ステージの上、2階の屋根のあるスペースもイベント会場として利用できます。イベントの受付の設置など、雨や日差しを避けたい用途に便利です。



2F
屋根あり
スペース

ホールでのイベントも開催できる 「ジャパンパビリオン」

ところざわサクラタウンのイベントスペースは、屋外ではありません。「ジャパンパビリオン」は、大小2つの屋内ホールです。「ジャパンパビリオンホールA」は、最大1800人収容可能。ステージや大型スクリーン、音響、照明装置を備え、eスポーツ、2.5次元ミュージカル、ライブコンサートまで、あらゆるイベントに対応します。「ジャパンパビリオンホールB」は、DCP（デジタルシネマパッケージ）を導入した200席のシアターです。舞台スペースも設置可能で、イベント上映などにも利用できます。屋内外のスペースを併用することで、立体的なイベント展開も可能になります。

ホールA

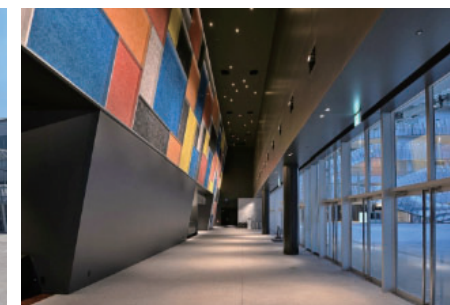
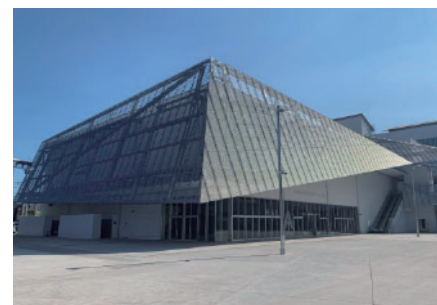
ステージ▶天高7.2m（ステージ床～バトン下）／間口19m／奥行9.5m（ Horizont幕まで9.18m）／床面 リノリウム／袖込の幅27m／客席平面部からの高さ1.2m
客席▶面積557.2㎡／平面部291.6㎡

ホールB

仮設ステージ▶天高6.5m／幅9m／奥行3.6m
客席▶席数207席（前方3列49席、後方2列38席は、着脱式可動イス）／面積263㎡（仮設ステージ32.4㎡含む）

TOKOROZAWA SAKURA TOWN

ジャパン パビリオン ホールA



スタンディング1800名、シーティング650名の大型ホールです。本格的な音響システムや舞台照明装置のほか、ドリンクカウンター付きのハワイエ、シャワーとトイレ付きの楽屋など、大型イベントに対応した設備がそろっています。

ジャパン パビリオン ホールB



幅12m×高さ6.75mのシネマスクリーンを備えるホールです。207席（舞台を伸ばした場合は157席）を設置可能で、映画の試写やパブリックビューイングに最適な空間です。



サクラタウンなら
“来場者が満足”してくれる



サクラタウンは
とっても“映える”



ところざわサクラタウンを イベントで使うメリット

ところざわサクラタウンは単なるイベントスペースではありません。そこには人々が集まってくる理由があります。さまざまな食事が楽しめるレストランやカフェ、ホテルなど、来場者が満足するホスピタリティあふれる仕掛けがあります。ミュージアムや工夫を凝らしたショップは、訪れる価値があります。そして、“映える”ビューポイントなど、人が集まる理由があります。ところざわサクラタウンをイベントで利用するメリットをご紹介します。



サクラタウンには
“訪れる価値”がある



サクラタウンなら
“愛される”



サクラタウンなら “来場者が満足”してくれる

ところざわサクラタウンには、イベントの来場者たちが快適に過ごせる空間が用意されています。まず、こだわりの食体験。それぞれ特徴あるカフェやレストランでは、ここでしか味わえないユニークなメニューを用意しています。例えば「角川食堂」では、地元農家直送の旬の食材を使った週替わりメニューのほか、KADOKAWAコンテンツとのコラボメニューなども人気です。遠方からの来場者には宿泊施設も。「EJアニメホテル」では、アニメ、ゲーム、映画、特撮、アイドルなどの世界観をさまざまな形で演出した部屋で、ほかでは体験できない空間を提供します。

TOKOROZAWA SAKURA TOWN



会場を訪れる人にとって、食体験は重要です。「角川食堂」を始めとするところざわサクラタウンの食事は、ここでしか味わえないアニメミュージメント体験です。



「EJアニメホテル」は「好きな物語に、泊まる。」を掲げるコンセプトホテル。コラボレーションプランでは、お客様が好きな作品と共に過ごせる特別な宿泊体験を提供します。レストランTiamのコラボメニューも人気。





サクラタウンには “訪れる価値”がある

角川武蔵野ミュージアムでは、館長の松岡正剛氏のコンセプトに基づき、想像と連想と空想を体現するライブラリーや、各種の企画展が人気です。また、KADOKAWA直営の体験型ショップ「ダ・ヴィンチストア」は「発見と連想」をキーワードに、「発見×連想ギャラリー」や人気アニメや最新ゲームのグッズコーナーなど、見どころの多い書店です。いつでも発見があるこれらの施設の魅力が、ところざわサクラタウンを何度も訪れる価値のある場所にしています。それは「ここで開催されるイベントなら行ってみよう」と、来訪者を後押しする力となってくれるはずです。



高さ約8メートルの巨大本棚に囲まれた「本棚劇場」は、約5万冊の書籍を所蔵。定期的上映されるプロジェクトマッピングが見どころです。本の息づかいや賑わいを感じられる“街”のような図書空間「エディットタウン」は、松岡正剛氏の監修による新しい選書モデルです。



体験型書店「ダ・ヴィンチストア」では、KADOKAWAが誇るマンガ、ライトノベル作品をより楽しむための企画や、EJアニメホテルと連動した限定グッズの販売も実施。



TOKOROZAWA SAKURA TOWN

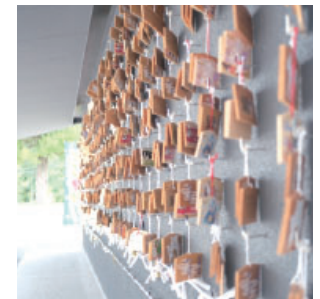
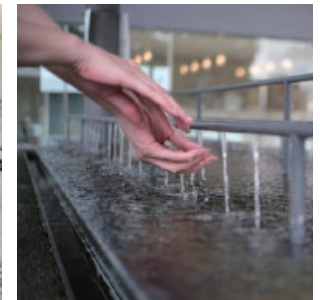
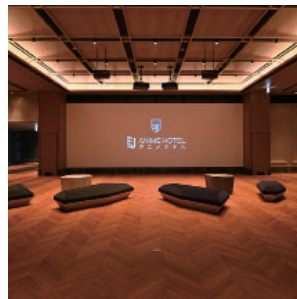
サクラタウンは とっても“映える”

隈 研吾氏の設計による角川武蔵野ミュージアムは、約2万枚の花崗岩を使用した独創的なファサードが特徴で、地域のランドマークとなっています。来訪した人々がミュージアムを背景に撮影している姿を見ることができます。来場者がスマートフォンで撮影してSNSなどに投稿し、記録や記憶に残ることは、発表会やイベントにとっても今や重要な要素となっています。ところざわサクラタウンには、ミュージアムの外観を始め、館内の本棚劇場や武蔵野坐令和神社、カフェやレストランの食事など、“映える”ポイントが数多く用意されています。

TOKOROZAWA SAKURA TOWN



カフェやレストランの食事や販売されるグッズなどにも、思わず撮影したくなるこだわりがあります。



COOL JAPANの聖地に建つ「武蔵野坐令和神社」は、文芸・芸術・芸能などのコンテンツを祀る人気スポット。



角川武蔵野ミュージアムの外観はどの角度から見ても独創的で、人気の撮影ポイントになっています。



サクラタウンなら “愛される”

ポップカルチャーの総本山として多くの方に来場していただいているところざわサクラタウンですが、利用者のもうひとつの特徴は地元の方々が多いことです。休みの日には散歩に訪れる地元の人が行き交い、食事にいらっしゃる方も絶えません。また、早朝のジョギングや保育園のお散歩コースになっていたりと、地域に根差し、人々に愛されている場所になっています。憩いの場、人が暮らす場、仕事をする場が集まった「COOL JAPAN FOREST構想」が、そんな形でも実現しつつあります。面白い場所、楽しい場所、そして多くのファンや地元の方々に愛される場所だからこそ、気持ちよくイベントが楽しめる——それこそが、ところざわサクラタウンのかけがえのない魅力です。

所在地

埼玉県所沢市東所沢和田三丁目 31 番地 3

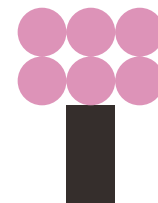
アクセス

JR 武蔵野線・東所沢駅 下車 徒歩 10 分
西武池袋線・所沢駅 下車 バスで約 20 分

お問い合わせ

株式会社 KADOKAWA レクリエーション事業局

<https://tokorozawa-sakuratown.jp/>



ところざわサクラタウン

TOKOROZAWA SAKURA TOWN